

アルコール健康障害に関する富山県の取組み



令和3年3月1日(月)

富山県厚生部健康課 精神保健福祉係

■計画策定の経緯

平成26年	6月1日	「アルコール健康障害対策基本法」施行
平成28年	5月31日	国の「アルコール健康障害対策推進基本計画」が閣議決定 ⇒2020年度までに全都道府県での計画の策定を目標
平成29年	1月30日 10月2日	第1回富山県アルコール健康障害対策関係者会議開催 第2回 〃
平成30年	3月	<u>富山県アルコール健康障害対策推進計画策定・公表</u>

■富山県アルコール健康障害対策推進計画の概要

(1) 基本理念

- ・アルコール健康障害の発生、進行及び再発の各段階に応じた防止対策を適切に実施するとともに、アルコール健康障害を有し、又は有していた者とその家族が日常生活及び社会生活を円滑に営むことができるように支援する。
- ・アルコール健康障害対策を実施するに当たっては、アルコール健康障害が、飲酒運転、暴力、虐待、自殺等の問題に密接に関連することにより、アルコール健康障害に関連して生ずるこれらの問題の根本的な解決に資するため、これらの問題に関する施策との有機的な連携が図られるよう、必要な配慮がなされるものとする。

(2) 基本方針

- ①正しい知識の普及及び不適切な飲酒を防止する社会づくり
- ②誰もが相談できる相談場所と、必要な支援につなげる相談支援体制づくり
- ③医療における質の向上と連携の促進
- ④アルコール依存症者が円滑に回復、社会復帰するための社会づくり

■ 重点目標

(1) 飲酒に伴うリスクに関する知識の普及を徹底し、将来にわたるアルコール健康障害の発生を予防

内容	本県の現状	目標	目標年次	進捗状況
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	男性:16.0%〔H28年〕 女性:2.9%〔H28年〕	男性:13.0% 女性:減少	R4年度	次回調査 R2年度
未成年者の飲酒をなくす	高校3年生〔H23年〕 15.0%(男性)、12.6%(女性)	0%	R4年度	目標年次 までに調査
妊娠中の飲酒をなくす	1.6%〔H28年度〕	0%	R4年度	目標年次 までに調査

(2) アルコール健康障害に関する予防及び相談から治療、回復支援に至る切れ目のない支援体制の整備

相談拠点の設置	—	1か所以上	R2年度	H30.5月設置
アルコール依存症の専門医療機関の選定	—	1か所以上	R2年度	H31.3月選定 (1か所)

■ 基本的施策

- ①教育の振興等
- ②不適切な飲酒の誘引の防止
- ③健康診断及び保健指導
- ④アルコール健康障害に係る医療の充実等
- ⑤アルコール健康障害に関連して飲酒運転等をした者に対する指導等
- ⑥相談支援等
- ⑦社会復帰の支援
- ⑧民間団体の活動に対する支援
- ⑨人材の確保等
- ⑩調査研究の推進等

■ 推進体制

富山県アルコール健康障害対策関係者会議

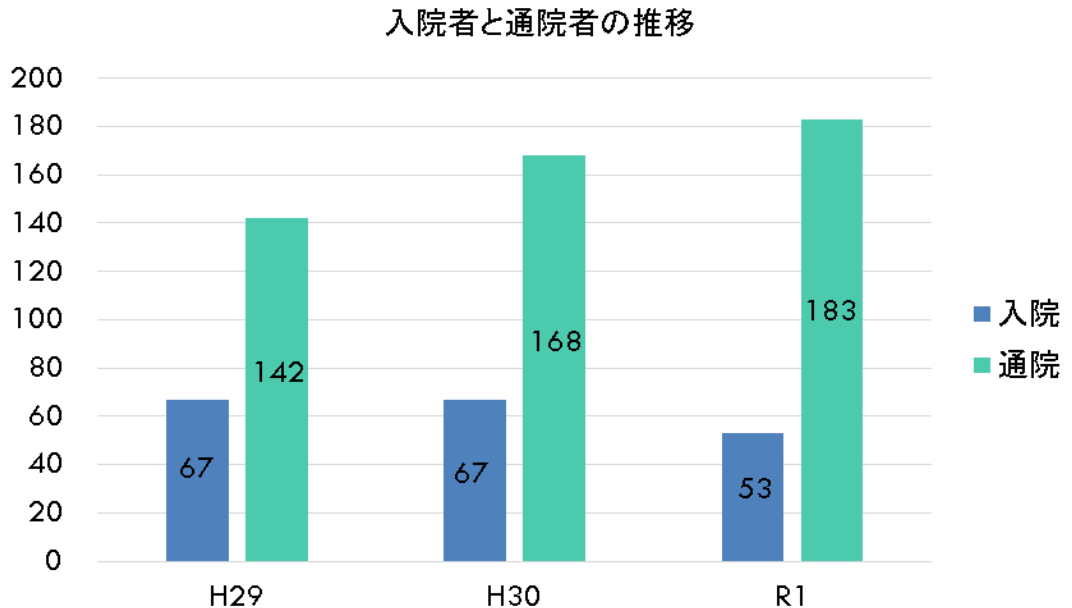
2. 富山県の現状について

■アルコール使用による精神及び行動の障害における入院患者と通院患者

■入院患者と通院患者

○富山県 (人)

年	入院	通院
H29	67	142
H30	67	168
R1	53	183



○参考: 在院患者数 精神保健福祉資料(630調査:平成29年～令和元年)(基準日:毎年6月30日)
通院患者数 自立支援医療(精神通院医療)受給者のうちアルコール使用による精神及び行動の障害に分類されている者の人数(基準日:毎年3月31日)

○県内医療機関で治療を行っている患者・入院者数は減少傾向

○通院患者(自立支援医療を利用)は増加傾向

2. 富山県の現状について

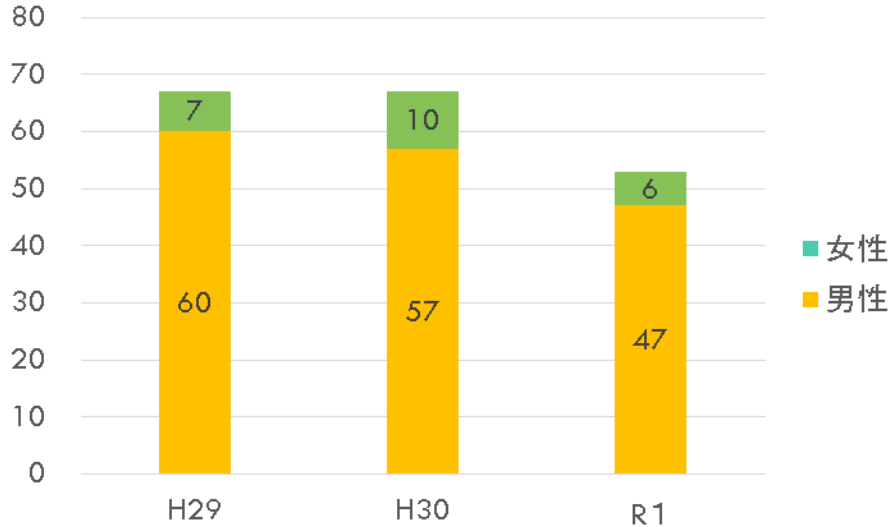
■入院患者(アルコール使用による精神及び行動の障害)

■主診断(F10アルコール使用による精神及び行動の障害)×男女別

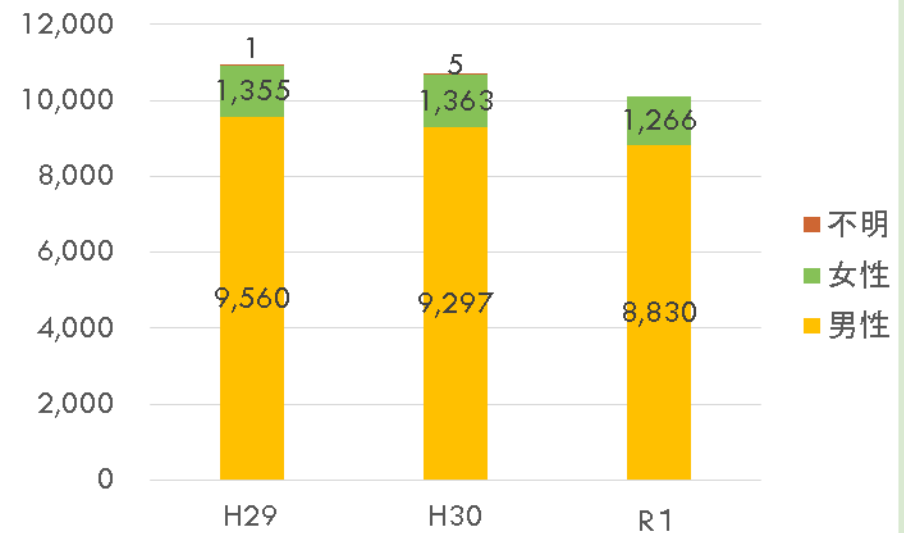
年	総数	性別	
		男性	女性
H29	67	60	7
H30	67	57	10
R 1	53	47	6

年	総数	性別		
		男性	女性	不明
H29	10,916	9,560	1,355	1
H30	10,665	9,297	1,363	5
R 1	10,096	8,830	1,266	0

富山県：男女別



全国：男女別



○参考：精神保健福祉資料(630調査：平成29年～令和元年)(基準日：毎年6月30日)

2. 富山県の現状について

■入院患者(アルコール使用による精神及び行動の障害)

■主診断(F10アルコール使用による精神及び行動の障害) × 年齢別

○富山県

(人)

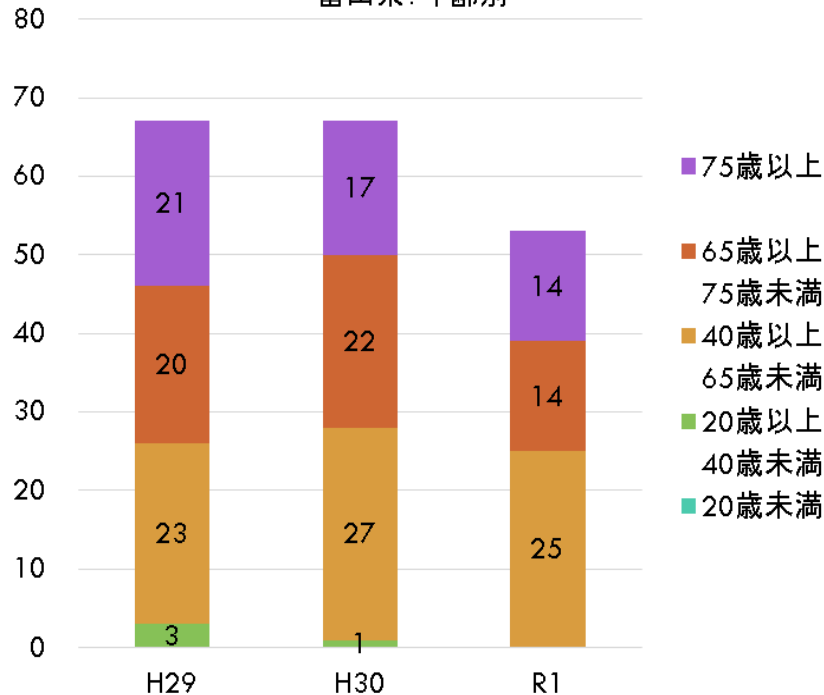
年	総数	20歳未満	20歳以上 40歳未満	40歳以上 65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上	不明
H29	67	0	3	23	20	21	0
H30	67	0	1	27	22	17	0
R1	53	0	0	25	14	14	0

○全国

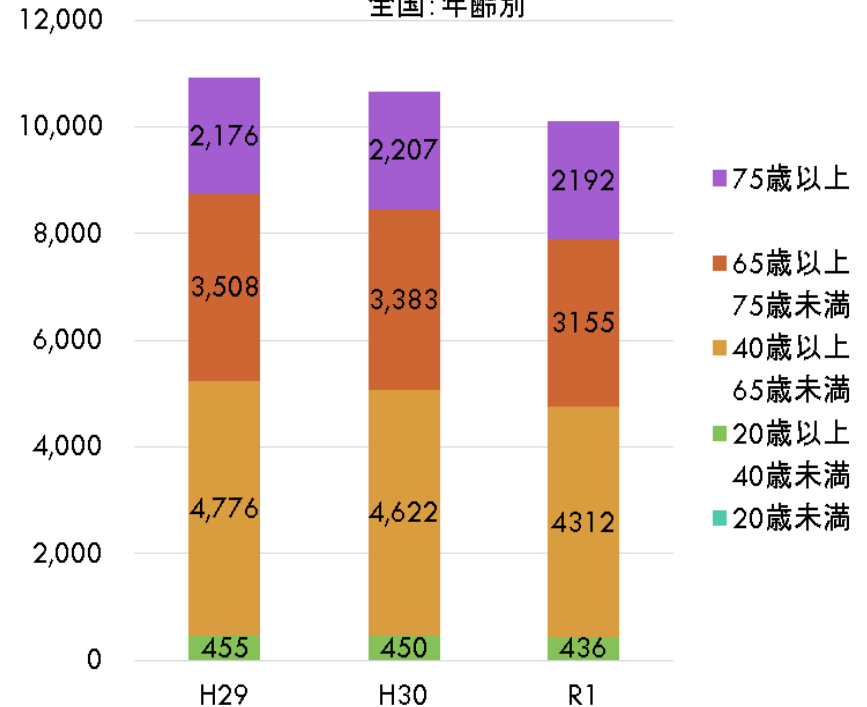
(人)

年	総数	20歳未満	20歳以上 40歳未満	40歳以上 65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上	不明
H29	10,916	1	455	4,776	3,508	2,176	0
H30	10,665	3	450	4,622	3,383	2,207	0
R1	10,096	1	436	4,312	3,155	2,192	0

富山県：年齢別



全国：年齢別



○参考：精神保健福祉資料(630調査：平成29年～令和元年)(基準日：毎年6月30日)

■富山県の施策等

■基本施策	事業等
①教育の振興等	職域連携事業、アルコール関連問題研修会、アルコール関連問題啓発週間事業 など
②不適切な飲酒の誘引の防止	ハndlキーパー運動の周知、酒類提供飲食店と連携した啓発活動、未成年者飲酒に関する街頭補導活動、酒類販売事業者等に対する指導・取締強化 など
③健康診断及び保健指導	専門相談支援事業(精神保健センター及び各厚生センター) など
④アルコール健康障害に係る医療の充実等	専門医療機関の選定(H30年度に専門医療機関を1カ所選定)、かかりつけ医依存症等対応向上研修 など
⑤アルコール健康障害に関連して飲酒運転等をした者に対する指導等	飲酒取消講習の実施(飲酒運転が認められたものへの講習)、精神保健福祉相談 など
⑥相談支援等	地域における相談拠点の設置、アルコール関連問題研修会の実施、アルコール関連問題啓発週間事業、アルコール家族教室の実施、アルコール依存症者支援関係機関連絡会の開催 など
⑦社会復帰の支援	アルコール依存症回復プログラム普及促進事業 など
⑧民間団体の活動に対する支援	SBIRTS普及促進セミナーの後援、断酒会との啓発活動(アルコール関連問題啓発週間事業) など
⑨人材の確保等	かかりつけ医依存症等対応向上研修、アルコール関連問題研修 など
⑩調査研究の推進等	各種会議・研修会への出席、調査研究や先進事例の共有(適宜) など

■ 富山県アルコール健康障害対策関係者会議(12名)

- ①医療保健関係者 5名(医師、薬剤師、臨床心理士等) ②教育関係者 3名(大学教授、高等学校長等)
 ③当事者団体 1名(民間団体) ④酒類事業者 1名(関連組合) ⑤更生保護関係者 1名(公的機関)
 ⑥有識者 1名(大学教授)

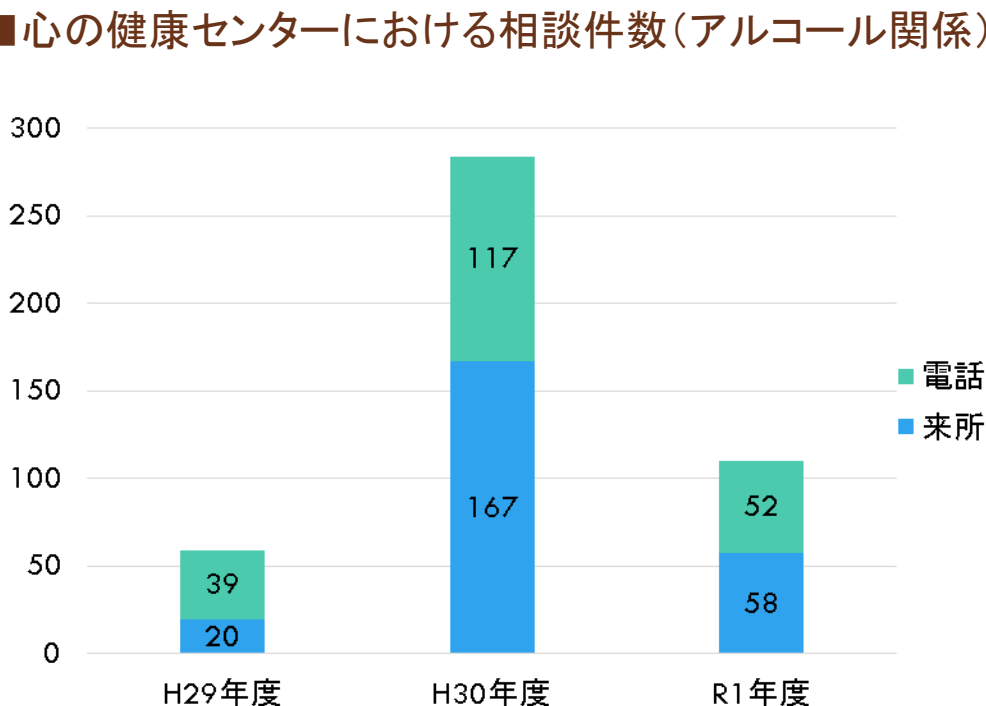
○平成29年、30年に「富山県アルコール健康障害対策推進計画」策定のために会議を開催。
 令和2年度中に同計画中間評価のため、関係者会議開催予定

■ 富山県依存症相談支援センター

■ 富山県依存症相談支援センター(H30年5月開設)

- 1 対 象 アルコール・薬物・ギャンブル等の依存状態にある本人や家族等
- 2 相談方法 電話・来所等による相談
- 3 相談時間 月曜日～金曜日 8:30～12:00／13:00～17:00
祝日及び年末年始(12/29～1/3)を除く
- 4 専用電話 TEL 076-461-3957
- 5 場 所 富山県心の健康センター内(〒939-8222 富山市蜷川459-1)

■ 心の健康センターにおける相談件数(アルコール関係)



年度	(人)	
	来所相談	電話相談
H29	20	39
H30	167	117
R1	58	52

■ 主な相談内容

【本人から】

- ・やめたくてもやめられない。

【家族から】

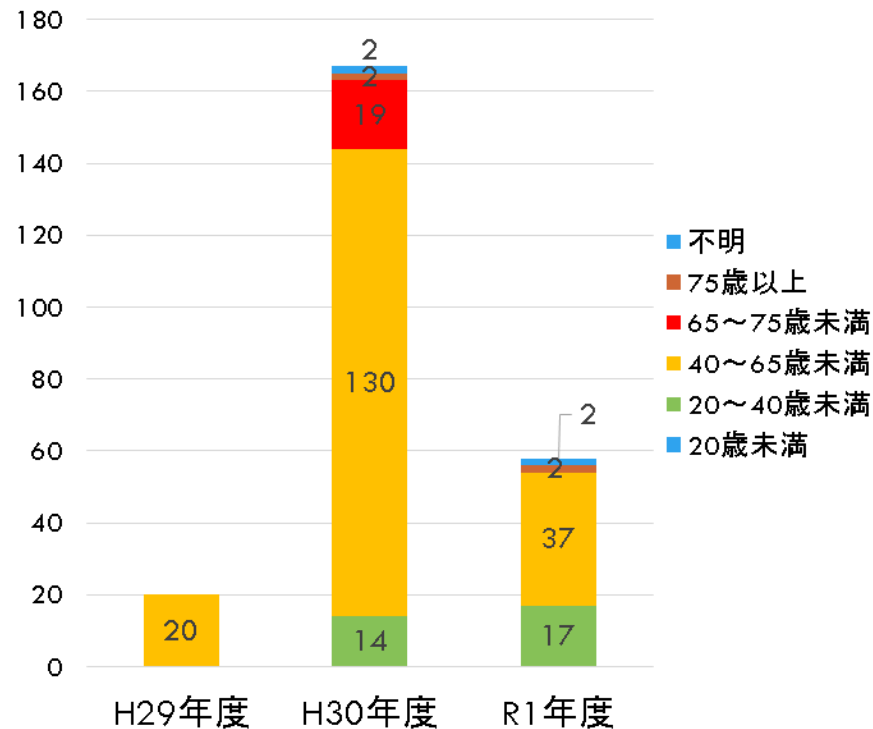
- ・アルコール依存症と思われる本人の対応についてどうしたらいいか。
- ・アルコール依存症の治療をしている病院について教えてほしい。

■ 富山県依存症相談支援センター

■ 来所による相談

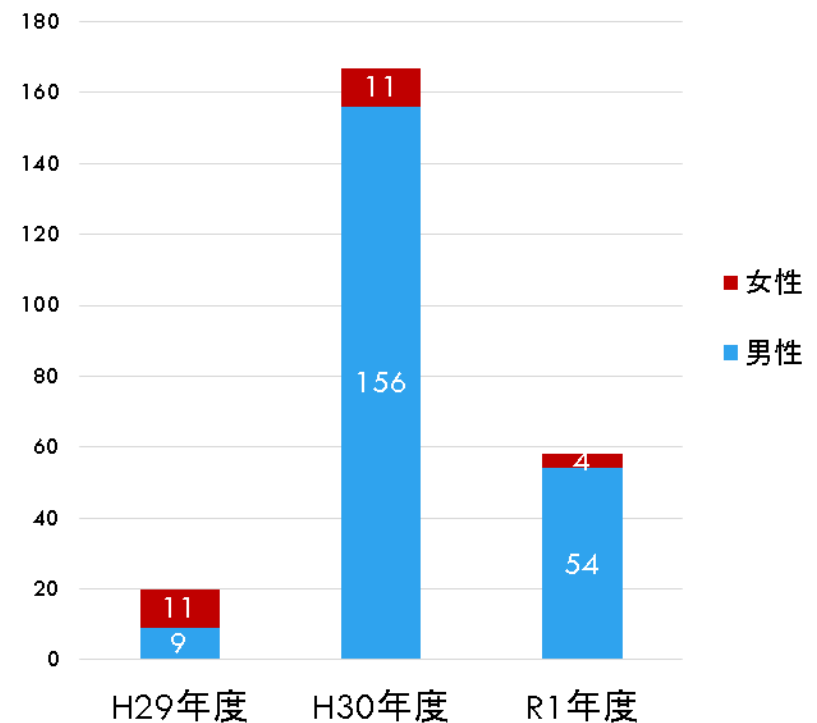
年度	20歳未満	20-40歳未満	40-65歳未満	65-75歳未満	75歳以上	不明
H29	0	0	20	0	0	0
H30	0	14	130	19	2	2
R1	0	17	37	0	2	2

1. 年齢別



年度	男性	女性	不明
H29	9	11	0
H30	156	11	0
R1	54	4	0

2. 性別



■富山県心の健康センターにおける依存症関連事業1

■本人回復プログラム(集団・個別)(①薬物・アルコール(H29～) ②ギャンブル(R2～))

○薬物、アルコール依存症回復プログラム(とやま～ぷ)

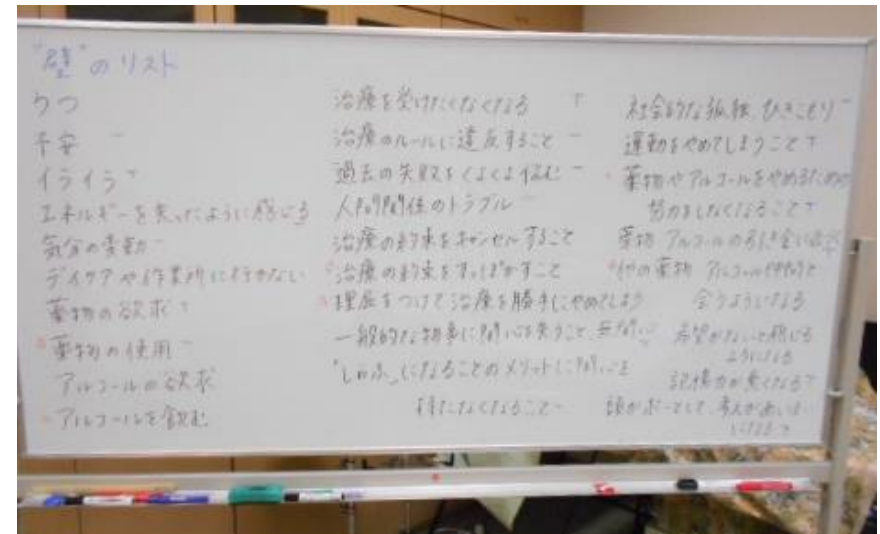
- 1 目 的 (1)本人が仲間と共に薬物、アルコール等に頼らない過ごし方を取り戻す
(2)回復者の参加は、ロールモデルの提示となる
(3)援助者が依存症援助を学び、援助者同士のネットワークを構築する
(4)地域の社会資源のひとつとして、認知行動療法を用いたワークブックによるグループプログラムの普及を図る
- 2 対 象 者 下記(1)(2)の2点を満たす方
(1)薬物、アルコール等の使用からの回復を目指す者
(2)事前面接でプログラムを受けることが適当と認められた者
※ 治療中の者は主治医から参加同意を得ていることとする。
- 3 開催回数 1クール5か月間 10回。 年2クール実施。 第2・4金曜日 14:00～15:30
- 5 開催場所 富山県心の健康センター
- 6 内 容 「SMARPP(せりがや病院覚醒剤再乱用防止プログラム英語名の略称)」という認知行動療法を用いたワークブックによるグループプログラムを実施する。
参加者には、修了証を交付する。
- 7 ス タ ッ フ 富山ダルクスタッフ、富山県心の健康センター職員(心理職、保健師)

■富山県心の健康センターにおける依存症関連事業1

8 参加者

年度	クール	回数	参加者		回復者	
			実人員	延人員	実人員	延人員
H29	I	10	4	28	2	16
	II	10	3	29	3	15
H30	I	10	3	30	2	13
	II	10	4	27	3	9
R1	I	10	4	27	1	10
	II	9	3	30	2	7

9 研修会の様子 参加者、回復者スタッフ、センター職員が和やかな雰囲気の中でともに意見を出し合い、学びを深めている。



■ 富山県心の健康センターにおける依存症関連事業2

■ 依存症に関する関係機関向け研修会

年度	テーマ・講師	参加人数
H29	講演「アルコール依存症の基礎的知識、最新の情報」 ～最新の治療薬、若者とアルコール依存症 断酒ではなく節酒という考えについて～ 講師 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科医師 岩原千絵	60名
H29	講演「CRAFTについて」 講師 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科医師 岩原千絵	31名
H30	講演「だれにでもできる依存症の治療・回復支援」 講師 埼玉県立精神医療センター副病院長 成瀬 暢也	50名
R1	講演「ポップなアルコール依存症講座」 講師 近畿大学芸術学部 教授 前田 益尚	68名
R1	講義「笑顔を取り戻す家族支援～HARPの活動から～」 講師 松原病院 看護師長 川口 和枝	68名
R2	講演「依存症の基本的理解と家族支援」 講師 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 診断治療開発研究室長 近藤 あゆみ	33名

○アンケート(令和2年)

- ・業務や職務をおこなう上で有益であったか・・・有益【73%】／おおむね有益【27%】
- ・(意見)女性のアルコール依存症の支援の方の支援について知りたい

■富山県心の健康センターにおける依存症関連事業3

■依存症支援関係連絡会

○アルコール依存症者支援関係機関連絡会

- 1 目 的 ①関係機関の情報共有、意見交換、相互の役割理解
 ②適切な支援が展開されるような連携体制の構築
- 2 出 席 者 専門医療機関、一般医療機関、民間団体、産業保健総合支援センター、保健所
 各厚生センター、県健康課
- 3 開催回数 年1回
- 4 内 容 ・富山県アルコール健康障害対策推進計画と富山県における依存症対策について
 ・心の健康センター・依存症支援センターの事業報告
 ・SBIRTS普及促進セミナーの報告について
 ・各機関の事業や取組についての情報共有 など

○依存症支援関係機関連絡会（アルコール、薬物、ギャンブル等）
令和2年度については、令和3年3月に開催予定。